



「モバイル金融 API」について「MCPC award 2017 モバイルビジネス賞」を受賞 ～7年連続受賞～

株式会社みずほ銀行(頭取:藤原 弘治)は、2017年11月28日に開催されました「MCPC(※1) award 2017」において「ユーザ部門 モバイルビジネス賞」を受賞しました。

当行では、新技術の積極的な活用、スタートアップ企業との協業を通じて、邦銀初となるモバイルサービスを、継続的に多数提供し続けています。今回の受賞は、FinTechの中核領域の一つで、外部企業と簡単に接続可能なAPI(※2)について、法人分野および個人分野のインターネットバンキングの両方の分野において、先駆的に開発し、さらに、革新的なモバイルサービスの提供につなげたことを評価されたことによるものです。

<ポイント>

	概要
1	個人および法人分野のインターネット／モバイルバンキングのAPIの先行開発・提供
2	照会系API(残高・入出金明細照会)および更新系API(資金移動)の提供
3	実証実験にとどまらず、FinTech企業とAPI連携したサービスの継続的な提供 ～ Moneytree、ネストエッグ、ITRealize等と照会系、更新系API等で連携
4	お客さまやFinTech企業にとっての利便性・セキュリティの向上 ～ ID・パスワードの保管や金融機関との接続にかかるメンテナンス等
5	オープンイノベーションの積極的な推進 ～ 次世代の金融機関のロールモデルとなる新しい外部連携方式の確立、先導

当行は、APIやFinTech企業等との連携を通じて、オープンイノベーションを推進し、お客さまにとって利便性の高い金融サービスをご利用いただけるように、積極的に取り組んでいきます。

※1MCPCについて

(1)MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長:安田靖彦)は、業界の枠を越えてモバイルコンピューティング、IoT/M2Mシステムを普及促進することを目的とし、1997年に発足した任意団体。端末インターフェースガイドラインおよびBluetoothなど多数の標準化作業をはじめ、「セキュリティ対策ガイド」発行、「モバイルシステム技術検定」実施などを通して、モバイル、IoT/M2M市場の拡大に貢献。
(2)MCPCではこれら活動に加えて、モバイルコンピューティングの導入により高度なシステムを構築し、顕著な成果をあげている企業や団体を表彰する日本で初めての試みとして、「MCPC award」を2003年度より開催。モバイルシステム、M2M/IoT技術の導入により「業務効率化」「コスト削減」「売上拡大」「業績向上」や「モバイル、M2M/IoT技術の効果的活用」などの顕著な成果をあげている企業や学校・団体・自治体の事例を募集・顕彰し、今後導入を検討しているユーザの手本となるよう紹介。

※2 Application Programming Interfaceの略。銀行以外の第三者が、銀行と銀行のお客さま(預金者等)の同意のもと、情報セキュリティに留意しつつ銀行システムと連携し、銀行の保有する顧客情報にアクセスの上、多様な金融サービスの創出を可能とする仕組み。

受賞の様子(2017年11月28日)



以上